

甲府商工会議所

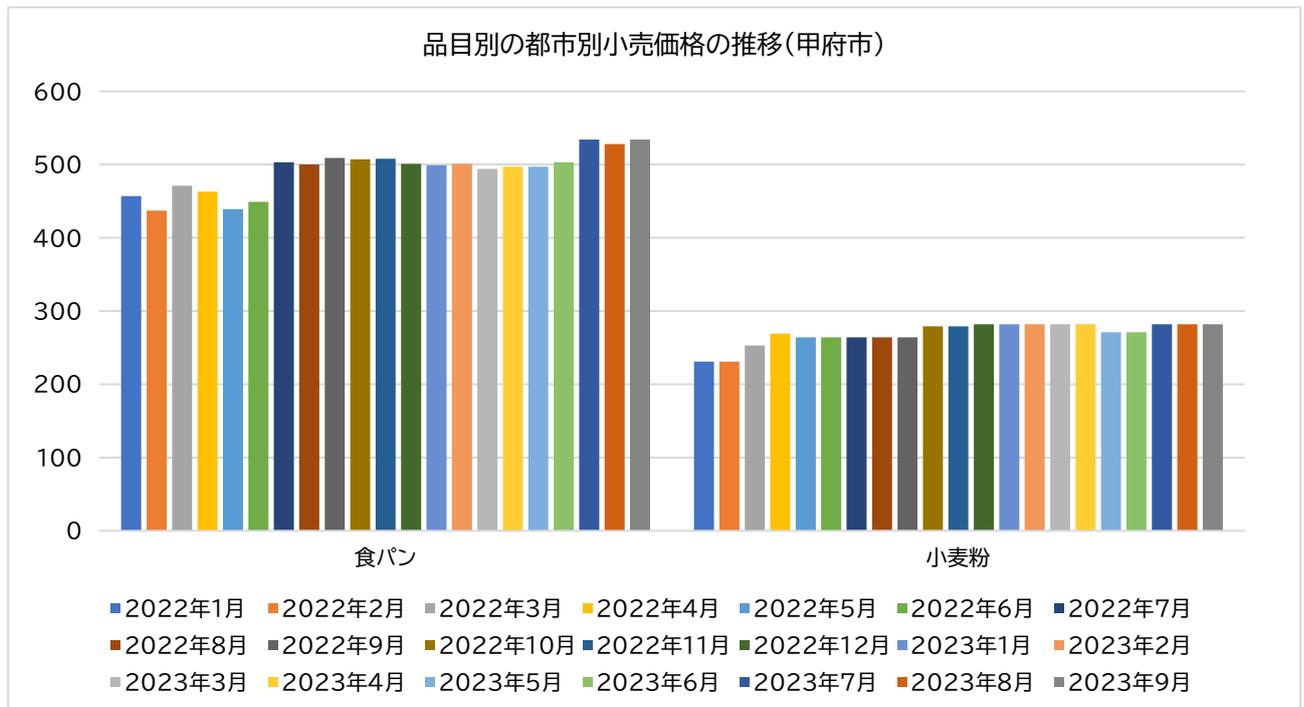
需要動向調査結果(令和5年度9月報告)

目次

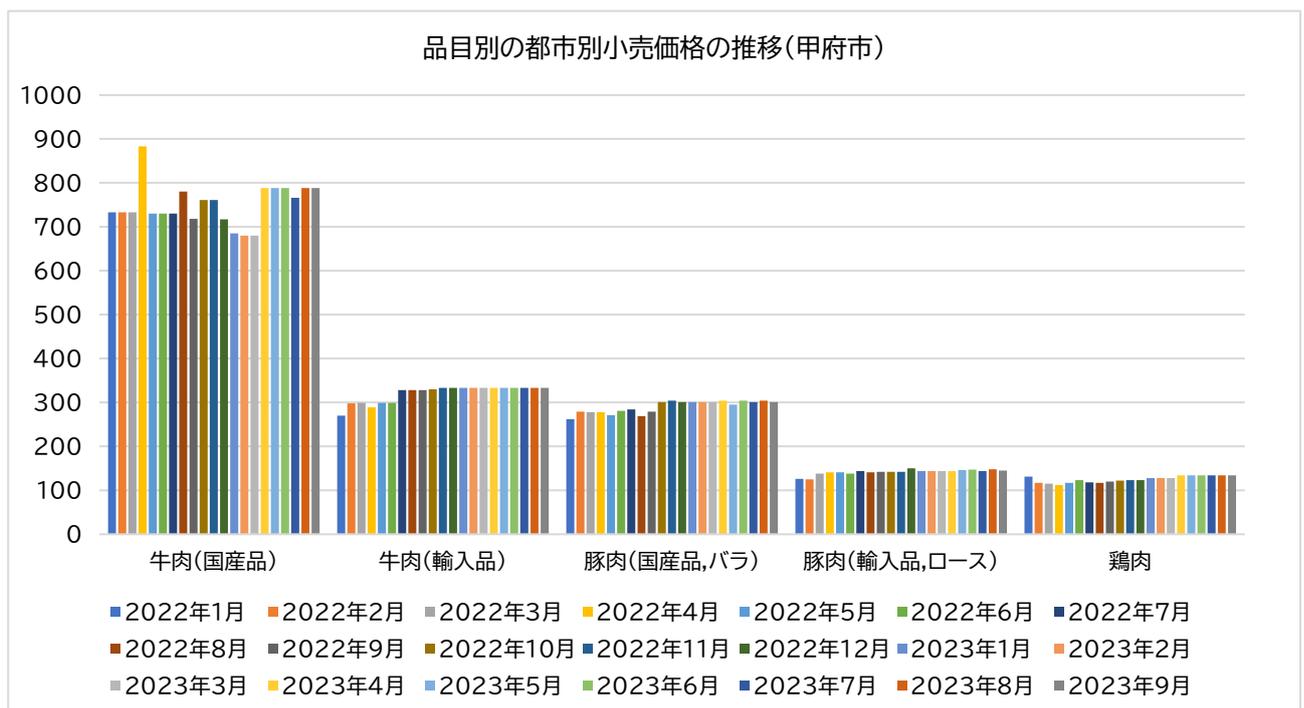
1. 品目別の都市別小売価格の推移（出典：小売物価統計調査 動向編）	1
2. 県庁所在地別 1世帯あたり支出金額の順位比較	5
3. 山梨の土産品（特産品）商品別販売動向	7
4. まとめ	10

1. 品目別の都市別小売価格の推移（出典：小売物価統計調査 動向編）

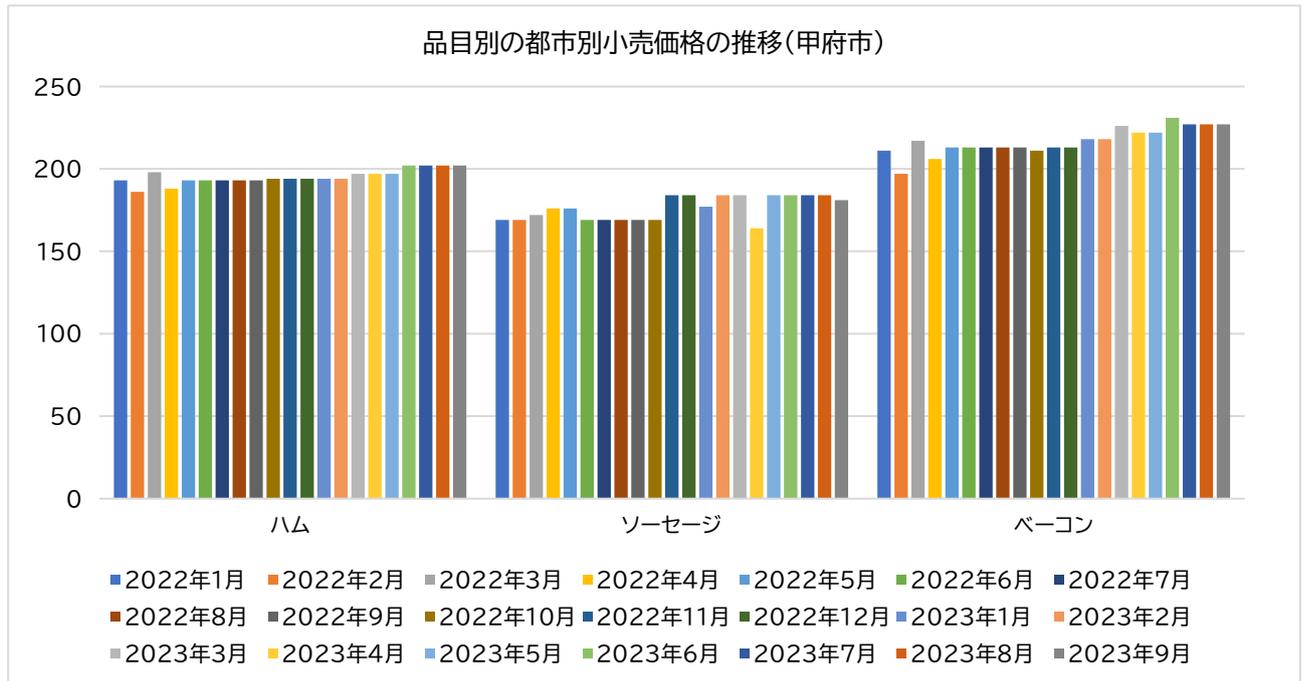
甲府市における品目別の 2022 年 1 月から 2023 年 9 月における小売価格推移調査では、食パンについては継続的に上昇傾向がみられる。小麦粉については、期初で小売価格の上昇がみられ、以降高止まりの状態が続いている。



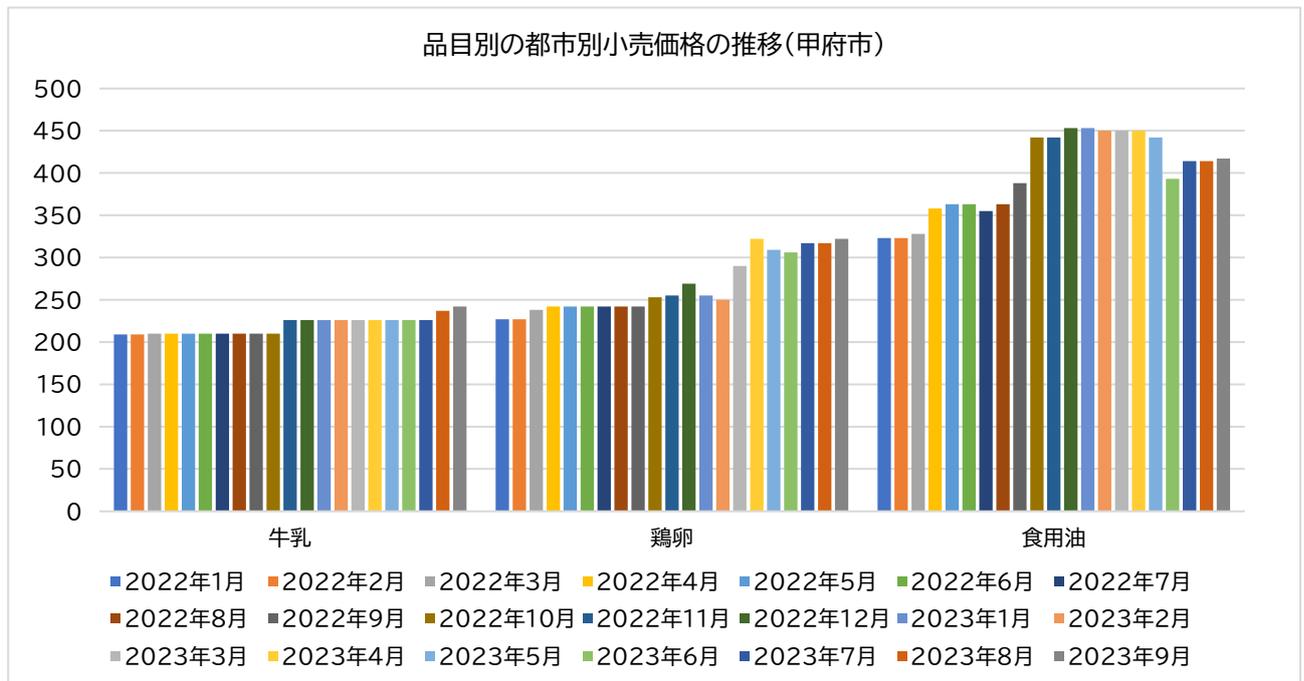
牛肉（国産品）については、価格の上下変動がある。直近の 6 カ月では高止まりの状態となっている。牛肉（輸入品）、豚肉（国産、バラ）、豚肉（輸入品、ロース）については、期初で上昇傾向があり、その状態が続いている。鶏肉については、大きな変動は見られない。



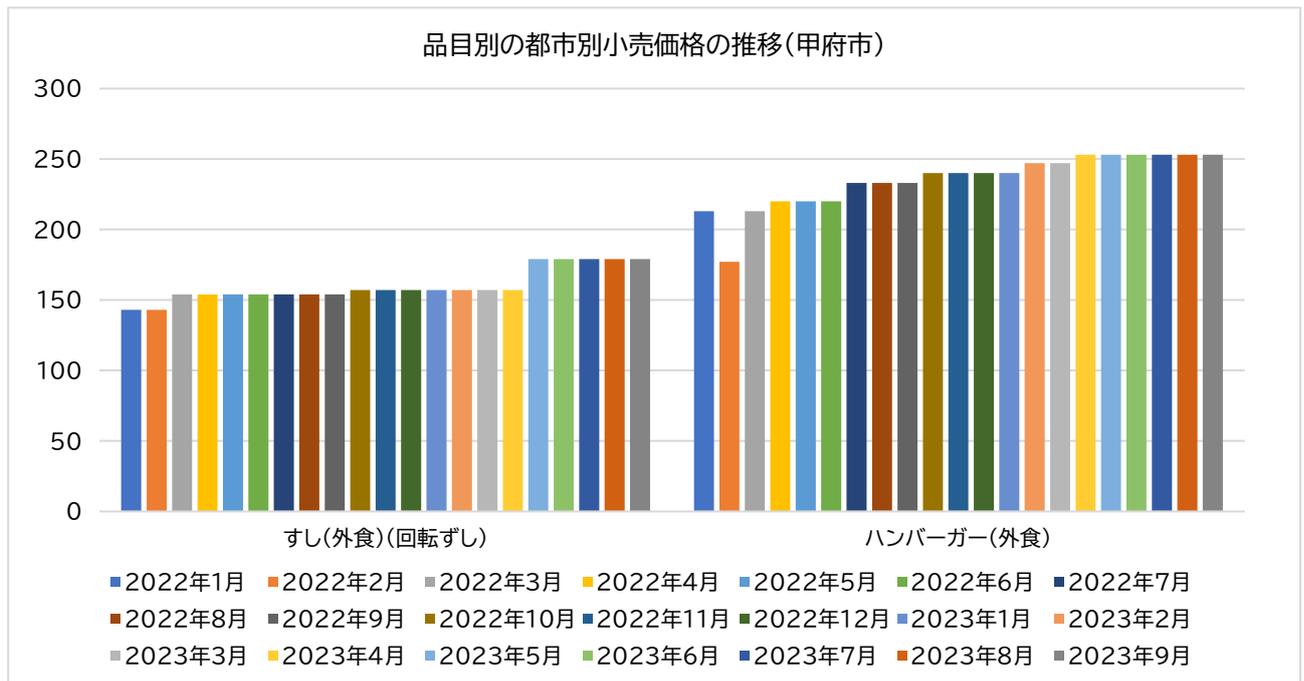
ハム、ソーセージ、ベーコンについては、価格の上下変動は見られるが、全体的に緩やかな上昇傾向と見ることができる。



牛乳、鶏卵については、価格の上昇が続いている。食用油については、価格の大幅な上昇が見られたが、直近の4カ月では価格が下落している。

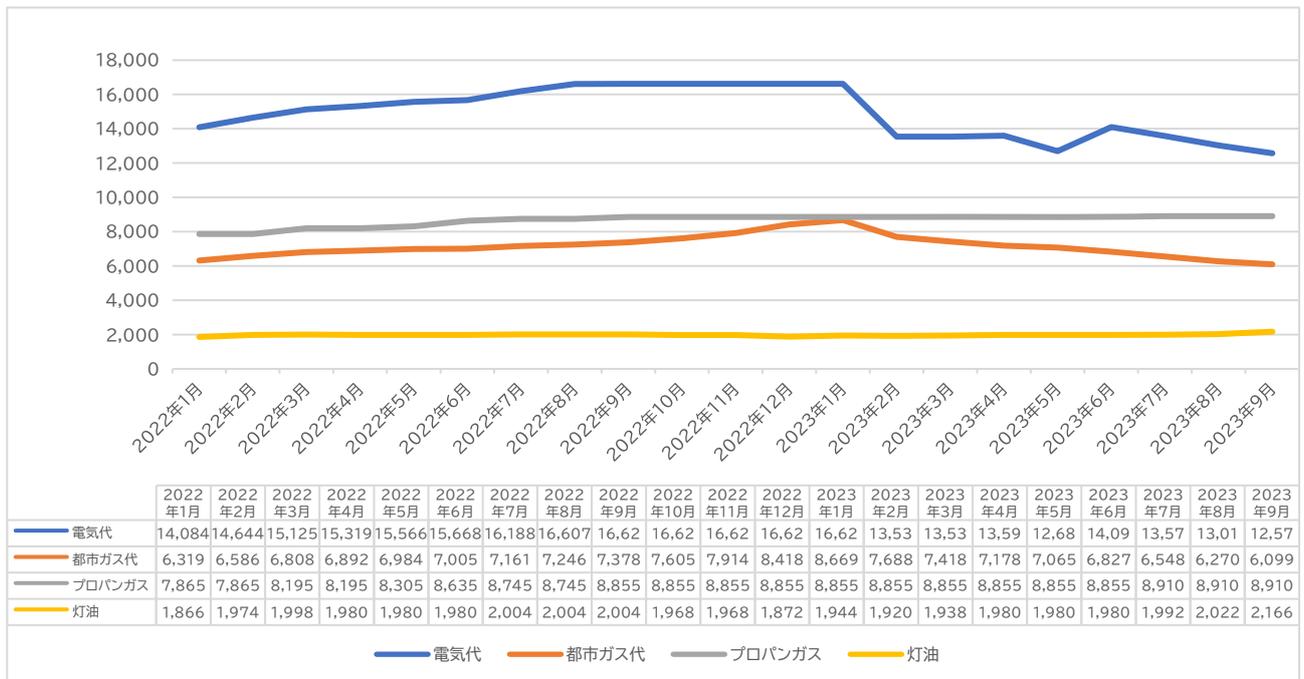


外食の、回転ずし、ハンバーガーについては、価格の上昇傾向が続いている。

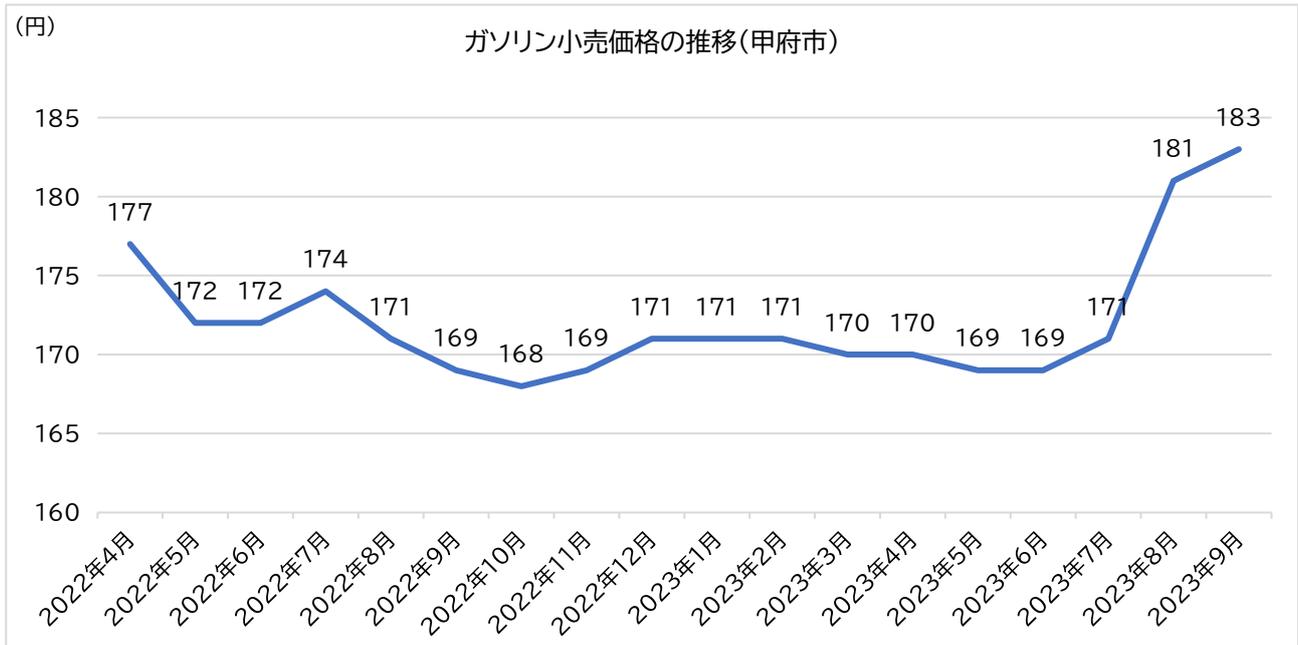


インフラ関係では、電気、都市ガスが上昇傾向であったが、政府の総合経済対策「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が2023年1月期から実施され、2月検針分から適用となっている。その効果で、甲府市の小売価格も2月期から減少に転じている。

プロパンガス、灯油については、大幅な変動は見られない。



甲府市におけるガソリンの小売価格については、2023年7月以降、大幅な上昇傾向となっている。



出典：小売物価統計調査（動向編）

2. 県庁所在地別 1 世帯あたり支出金額の順位比較

県庁所在地に川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市を加えた 52 都市における 1 世帯あたり支出金額の順位について、2022 年 1 月から 2023 年 6 月について、四半期ごとに比較を行った。

【まぐろ】

甲府市のまぐろへの支出は常に上位となっている。2023 年 4-6 月期は 6 位となっている。他市に比べて支出金額が多いことが分かる。

【牛肉】

牛肉は常に順位が最下位レベルとなっている。2023 年 4-6 月期は 44 位となっている。

【ぶどう】

ぶどうは 2022 年 1-3 月期、4-6 月期は全国最下位レベルであったが、7-9 月期では 1 位、10-12 月期では 3 位であった。2023 年の 1-3 月期、4-6 月期では再び最下位レベルにまで下がっている。

【桃】

桃は常に上位レベルとなっている（販売データがない月が存在する）。2023 年 4-6 月期では全国 5 位となっている。

【ケーキ】

ケーキの販売金額は 2022 年 7-9 月期、10-12 月期では上位となっていたが、2023 年 1-3 月期では順位を下げ、4-6 月期ではさらに 42 位に順位を下げている。

【清酒】

清酒は、2023 年 1-3 月期では 8 位と高い順位であったが、4-6 月期で大きく順位を下げ、41 位となっている。

【ワイン】

ワインは 2022 年は徐々に順位が上がる傾向が続き、2023 年 1-3 月期においては 8 位となっていた。4-6 月期では順位を下げ、21 位となっている。

【鮭（外食）】

鮭（外食）については、常に半数より下位となる状況が続いていたが、2023 年 4-6 月期では 27 位と過去最高位となっている。

【焼肉（外食）】

焼肉（外食）は常に下位となっている。

【喫茶代（外食）】

喫茶代（外食）については、半数より上位となる月が多くなっている。4-6 月期は 21 位となっている。

【飲酒代（外食）】

飲酒代（外食）については、常に半数より下位となる状況が続いている。

【ハンバーガー（外食）】

ハンバーガーは比較的上位に位置していたが、2023 年 4-6 月期は最下位レベルに落ち込んでいる。

○県庁所在地別 1世帯あたり支出金額の順位

対象都市：52市（県庁所在地＋川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市）

※青網掛けは半数より上位

購入品	2022年				2023年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期
まぐろ	3位	3位	4位	1位	3位	6位
牛肉	40位	44位	42位	42位	49位	44位
ぶどう	51位	52位	1位	3位	40位	52位
桃	－	5位	3位	2位	－	5位
ケーキ	46位	45位	17位	18位	32位	42位
清酒	24位	31位	49位	20位	8位	41位
ワイン	38位	18位	16位	11位	8位	21位
鮭(外食)	42位	46位	28位	42位	33位	27位
焼肉(外食)	51位	31位	34位	47位	52位	45位
喫茶代(外食)	18位	22位	9位	28位	32位	21位
飲酒代(外食)	30位	47位	52位	45位	40位	42位
ハンバーガー(外食)	16位	15位	4位	7位	27位	47位

出典：家計調査（R5年6月期まで公表）

3. 山梨の土産品（特産品）商品別販売動向

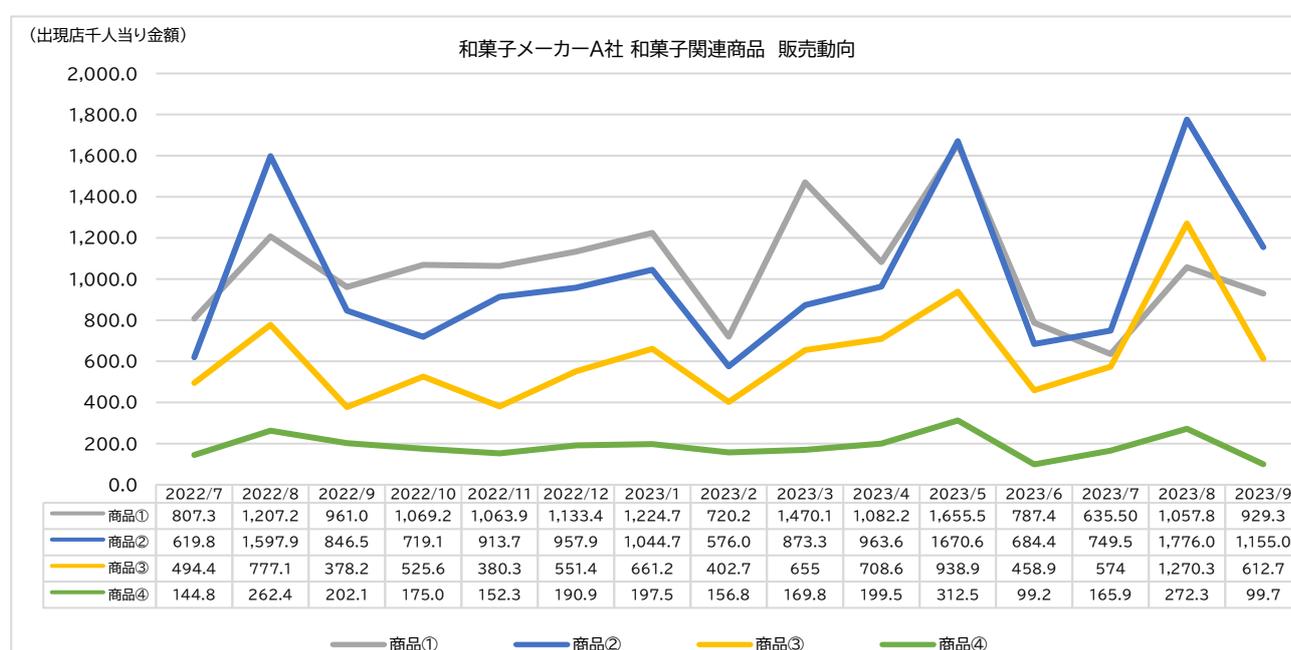
POSEYES データを用いて、土産物として購入されることの多い商品の販売傾向を調査した。データは販売されている店舗における千人当りの購入金額としている。

(1) 和菓子関係

○和菓子メーカーA社

山梨県の土産品としてよく購入される和菓子メーカーA社の和菓子関連商品については、5月、8月に売り上げが伸びている（商品①に関しては、3月の売り上げも伸びている）。

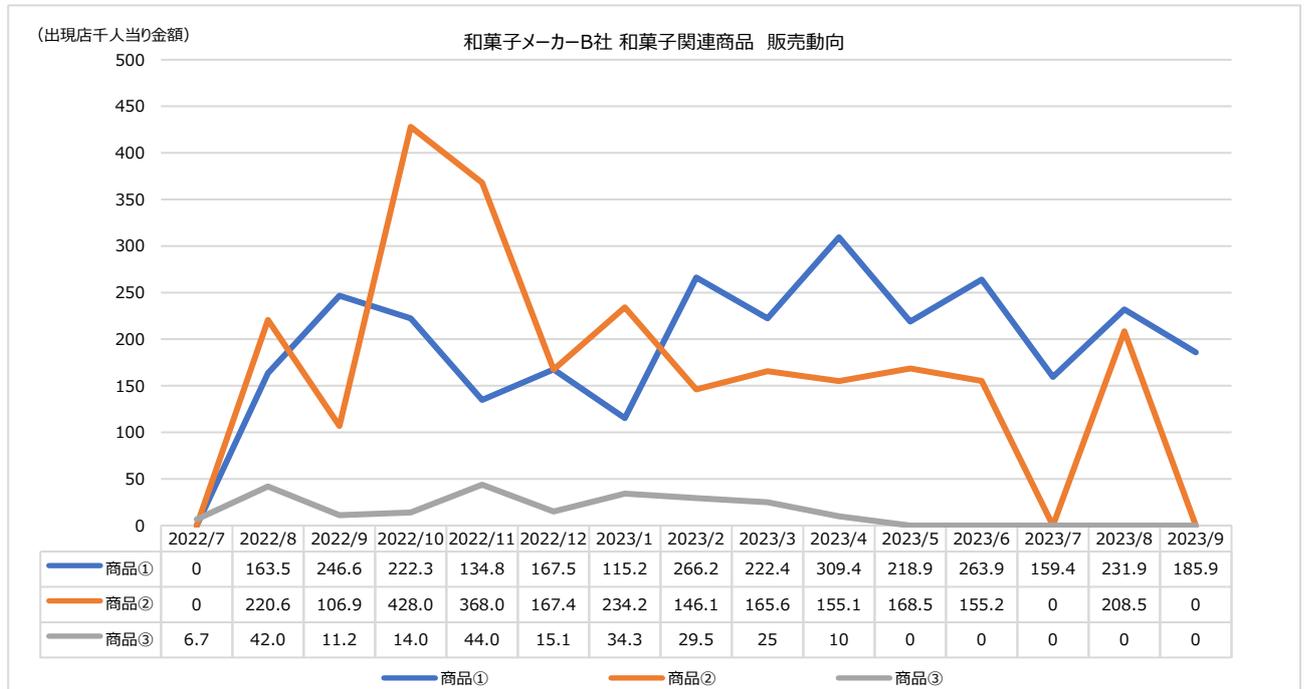
通年で見ると毎年8月に売り上げが伸びる傾向がある。



○和菓子メーカーB社

和菓子メーカーB社の和菓子関連商品については、商品②の販売額の変動が大きくなっている。売り上げが全くない月も存在する。

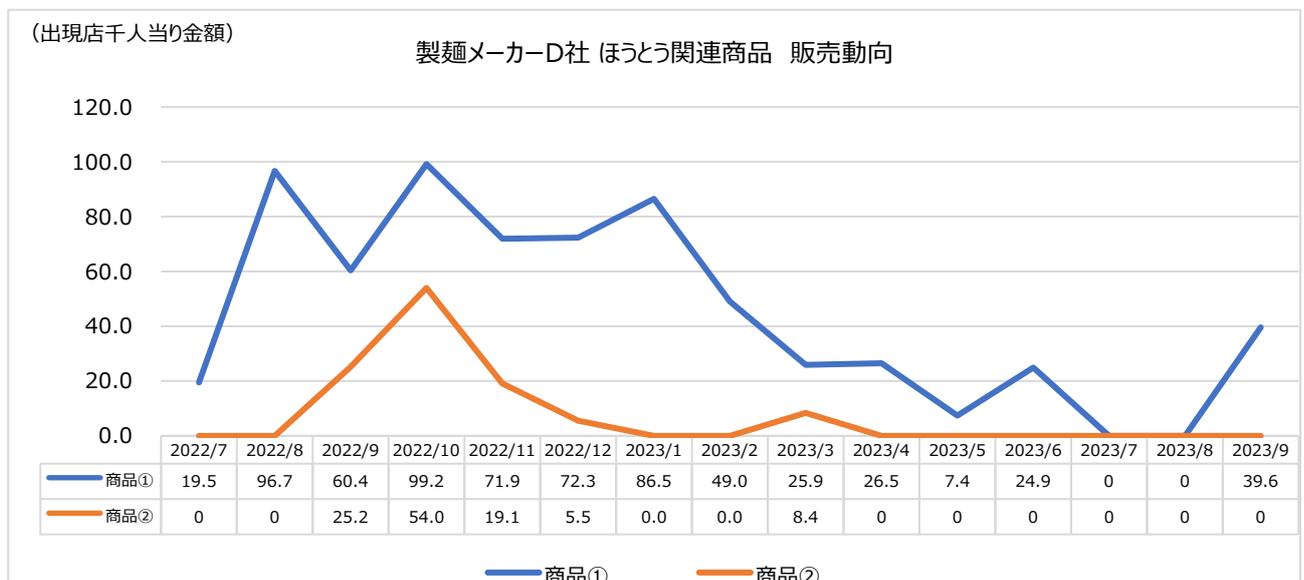
商品③については、一貫して販売額が少ない状況となっている。直近の5カ月は売り上げがない。



(3) 製麺関係

製麺メーカーD社のほうとう関連商品については、定番のほうとう商品である「商品①」について、2023年2月期以降の販売が低調になっている。

2018年に発売された新商品の「商品②」は、2022年10月の販売が伸びたものの以降は販売が低迷し、2023年4月期以降は売り上げが無い状態が続いている。



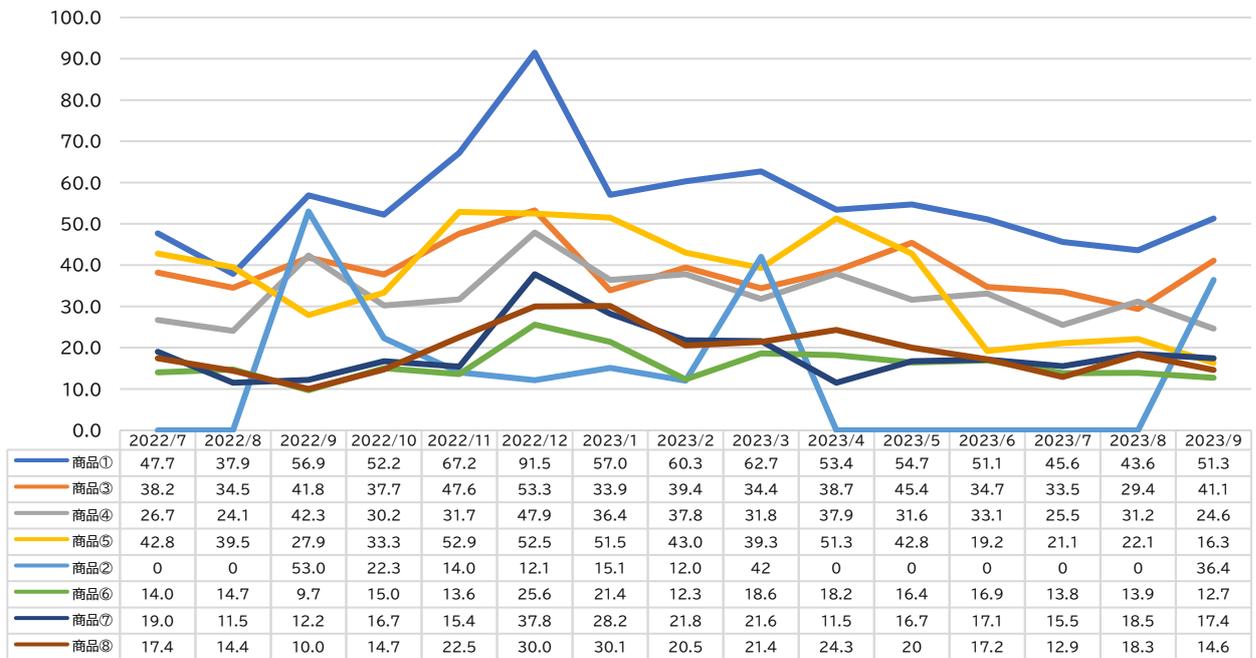
(2) 日本酒関係

日本酒メーカーE社の日本酒関連商品については、2022年に純米酒720ml商品である「商品①」、純米酒1.8L商品である「商品⑤」が年間を通して堅調な売り上げを示していたが、2023年6月期以降「商品⑤」の販売が大きく落ち込んできている。

スパークリング系の商品である「商品⑥」、「商品⑦」については販売額に大きな伸びは見られない。

(出現店千人当り金額)

日本酒メーカーE社 日本酒関連商品 販売動向



商品① 商品③ 商品④ 商品⑤ 商品② 商品⑥ 商品⑦ 商品⑧

4. まとめ

小売物価統計調査（動向編）における小売価格の変動調査では、調査対象とした食品のほとんどに上昇傾向がみられる。特に食用油には著しい価格上昇がみられる。

インフラ関係では、電気、都市ガスは上昇傾向にあったが、2023年2月期で大幅に下落している。政府の総合経済対策「電気・ガス価格激変緩和対策事業」が2023年1月期から実施されていることに起因すると考えられる。

プロパンガス、灯油には大きな価格の上昇はみられない。ガソリンについては、2023年7月以降に大幅な上昇が見られた。

県庁所在地別1世帯あたりの支出金額の順位比較では、常に上位の支出となっているのは、まぐろであり、この傾向は変わっていない。

牛肉は常に順位が下位となっている。

清酒、ワインは、ともに4-6月期で順位を下げている。

ハンバーガー（外食）は比較的上位となっていたが、2023年4-6月期は最下位レベルに落ち込んでいる。

POSEYES データを用いた、土産物として購入されると思われる商品の販売傾向調査では、和菓子は季節変動が大きくなっている。

ほうとう関連商品は2023年に入ってから売り上げが低調になっている。

日本酒は純米酒の720ml商品が堅調な売り上げを示している一方で、1.8L商品は2023年6月以降、販売の落ち込みが見られる。スパークリング系は一貫して販売が低調となっている。

以上